OPA magaZine

Vol.23 | 2025年7月

Contents

01 What's HOT！

#オススメ！2025年アートスポット
#美術館の楽しみ方！

02 ワカ研の活動はこちらからチェック

OPAmagaZineは…
Z世代のトレンドやZ世代目線で気になることなどを調査し、皆さまにお届けしています✨

※情報は発行日時点のものとなります。
※無断転載・複製・Web、SNS上への掲載は禁止です。
※本誌に掲載されている記事は必ずしも当社の見解を表明してはいません。

▼お問い合わせ▼
株式会社OPA OPA若者トレンド研究会
wakaken@opa.gr.jp

〇表紙写真：韓国「国立現代美術館ソウル館」
〇目次写真：徳島県鳴門市「大塚国際美術館」

【出典・参考文献】
#オススメ！2025年アートスポット
EXPO2025大阪・関西万博公式サイト
https://www.expo2025.or.jp/ （参照2025.06.24）
瀬戸内国際芸術祭公式HP
https://setouchi-artfest.jp/ （参照2025.06.19）
青森県立美術館
https://www.aomori-museum.jp/ （参照2025.06.24）
十和田市現代美術館 | Towada Art Center
https://towadaartcenter.com/ （参照2025.06.24）
陶芸体験 らくやきコース むさし野深大寺窯 陶芸体験・深大寺
https://jindaijigama.jp/rakuyaki.html （参照2025.06.24）

What's HOT!

#オススメ！2025年アートスポット

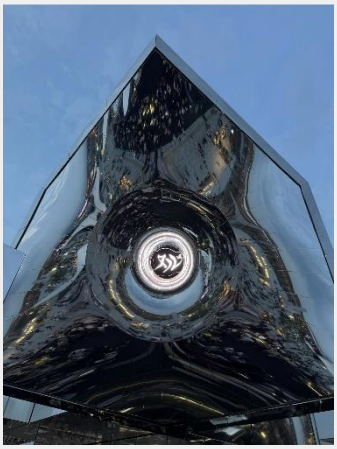
早速ですが…5年に1度開催される『万博』が4/13~10/13で大阪で開催中なのは皆さんご存じですよね？
日本での開催はなんと20年ぶり、今回で5回目となります！

さらに、3年に1度開催される『瀬戸内国際芸術祭』開催の年でもあります✓

実はこの2つの共通項は“アート”　2025年はアートイヤーとも言えるのです✨
今回のOPAmagaZineはアートをテーマにお届けします🎨
この分野って詳しい人に聞いてみないとなかなかわからないことも多いですよね…
そこでアート系のスタートアップ企業 ㈱MASIROの代表 松崎さんとコラボしちゃいました！

MASIROさんHPはこちら
Instagramはこちら

①大阪・関西万博　null2　2025年4月13日～10月13日



2025年の大阪・関西万博では「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、さまざまな展示が行われています！

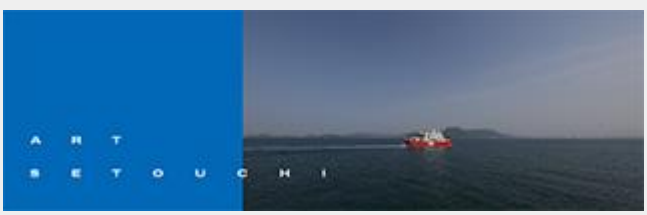
180以上のパビリオンが集まる中から今回ご紹介するのは、シグネチャーパビリオン「null2(ヌルヌル)」

メディアアーティストの落合陽一さんがプロデュースするこのパビリオンは、予約が取れないと話題沸騰中！
外壁全面が鏡で仕上げられており、ひときわ目を引き存在感があります(中央)👀
内部では、ロボットなどの最先端テクノロジーと、日本が培ってきた美的感覚の融合を楽しむことができ要チェックです✓

その他にも、国際的なアーティストによるパブリックアートが会場の各所に展示されていたり、日没後にはEXPOホール「シャインハット」を舞台にしたプロジェクションマッピングを上映！直径なんと60mにも及ぶホールの外壁に映し出される映像ショーは圧巻！クリエイターによる作品上映だけでなく、6月15日には特別プログラムとしてボーイズグループJO1とのコラボ上映も✨若者の間で定番化してきた“推し活”と“アート”の組み合わせも相性が良さそうですね◎

シグネチャーパビリオンとは…
会場の真ん中に位置していて8人のプロデューサーが主導するパビリオンで、リアルとバーチャルを融合した多様な体験により訪れるすべての人が“いのち”について考え、その概念をアップデートする場所になることを目指しています。

②瀬戸内国際芸術祭　2025年 [春]4月18日-5月25日　[夏]8月1日-8月31日　[秋]10月3日-11月9日



瀬戸内の島々を舞台に3年に1度開催される現代アートの祭典で今年はちょうど開催の年！
期間中は約100万人の方が国内外から訪れる日本を代表する国際的な芸術祭となっています。

約100日間にわたる会期では、春・夏・秋と季節ごとに瀬戸内の魅力を体験できます☀

現代アートの聖地として知られる「直島」をはじめ17の島やエリアを会場に、土地そのものを味わうことのできる芸術祭！
直島と言えば草間彌生さんの“南瓜”のオブジェが有名ですよね🎃
海や緑の中にある南瓜は直島でしか見ることができない特別な風景です◎

アートに敷居を高く感じる人でも“自然”を楽しむことや、島の中にあるアート全体を楽しむことができて
他とは違う体験になること間違いなしです！期間中に旅行がてら堪能しにいきたいですね…◎
以前、しまなみ海道エリア(広島と愛媛の間)の島々には行ったことがあるのですが、瀬戸内国際芸術祭の会場(岡山と香川の間)となっているエリアには行ったことがないので、この夏の旅行先候補に入れたいなと思います🚢

What's HOT!

＃オススメ！2025年アートスポット

③韓国でアート巡り

📍リウム美術館

📍国立現代美術館

韓国は“食やファッション”の最新トレンドだけでなく“アート”も盛んな国です！美術館は国立の一部の場所であれば、無料で入ることができるなど、旅行のついでに楽しむこともできます！

特にオススメなのが「リウム美術館」と「国立現代美術館」
リウム美術館の白い吹き抜け空間(左)は要チェック！
螺旋階段になっていてSNSでも人気を集めています✓

📍TAMBURINS聖水店

📍EQL聖水店

📍Samsung江南店

韓国旅行に行った時の写真フォルダを見返してみると…
立ち寄ったお店で撮っていたオブジェの写真が出てきました📷

美術館で楽しむアートだけでなく…韓国では人気のショップにアイコンとなるオブジェがあることが1つの特徴です◎

若者に人気の街 聖水にあるTAMBURINS(左)では、オブジェの写真を撮るために並ぶほど！大型セレクトショップEQL(中央)の店内には写真のようなオブジェがたくさんありました！
韓国大手Samsungのフラッグシップストア(右)の入口にも大きなオブジェが…ついつい写真を撮っていました📷

④青森県立美術館・十和田市現代美術館

📍青森県立美術館

📍十和田市現代美術館

アートは楽しみたいけど、穴場ってある？という方にオススメ！

青森には、アート界でも有名な美術館が多く存在しています。
現代の若手アーティストの展示から巨匠と呼ばれるアーティストの展示まで幅広く楽しむことができるのでオススメです✨

SNSで検索してみると…「青森県立美術館」には約8.5mもある“あおもり犬”や「十和田市現代美術館」には約4mの“スタンディングウーマン”など、大きなオブジェと一緒に写真を撮っている投稿が多くでてきます📷

SNS投稿を見据えた場所選び！

若者は『SNS投稿』を見据えて行く場所を選んでいます！

自分の作りたい世界観(アカウント)にマッチするか？
オシャレな写真が撮れそうか？という点も
「ここに行きたい」と選ばれるために大事です◎

そこで重要なのが
“どこを切り取ってもいい感じの画角で撮れる”こと📷

若者の価値観は多様化・細分化しているものの
SNS投稿を見据えた消費行動は
多くの若者に共通しているパターンです

ですが…全員が同じ画角で撮影するわけではないですよね？
どんな切り取り方でもオシャレな場所になることがポイントです✨

Editor's note

今回ご紹介したアートスポットを見てみると
“体験型”であることが共通ポイントになっています！
単に作品を見て楽しむというより
その街や空間・時間の過ごし方含めて楽しむことができたり
大きなオブジェと一緒に写真を撮れるなど
＋α の体験価値が鍵になっているようです◎
旅行やおでかけに“アート体験”を組み込んでみるのも良いですね✨

少し目線を変えて…こんなアート体験も！

📍むさし野深大寺 らくやき体験(東京都調布市)

100種類以上の素焼きから好きなものを選んで
自由に絵付けすることができ約20分で
陶器を作ることができます👍
“自分好み”にカスタマイズできる点や
その日に持ち帰りできる点も
“タイパ重視”の若者に人気の理由です◎

What's HOT!

＃美術館の楽しみ方！

ここからはアートの中でも“美術館”にテーマを絞ってお届けします🎨
美術館って行きたいけど、どうやって見たら良いのかわからない…と思ったことありませんか？

今回のOPAmagaZine共同制作者のMASIROさんは、若者視点でおすすめの展示や美術館を紹介する
Instagram『きみと美術館』の運用もされています！

きみと美術館のインスタはこちら

そんなアートに精通しているMASIROさんに美術館の楽しみ方を聞いてみました！

KIMI_TO_ART

注目の美術館や
展示会情報など
ぜひチェック
してみてください

●どの『みる』で作品を見る？

鑑賞
作品を味わってみること。
作品の端々、広く狭く
時間を贅沢に。

観測
星を見るように、、
人が作り上げた自然現象を
見る感じで。。。

観察
よく見て、よく考える。
何が起きているのかを客観的に。

傍観
見る人を見る。
会場全体でどう見られているか。
会場の端で見ている感じ

凝視
一つに目を凝らしてよくみる！
何か見えてきそう。。。

発見
「こう見える！」「こう思う！」
自分や作品の新しいところを見出す！

もっとアート鑑賞が楽しくなるようなアイデア

- ぱっと見で目に入った箇所を中心に見る
- 俯瞰で見たり、近くで見たり、距離感を計りましょう
- 見ている人が何を見ているのか観察してみましょう
- 話しながら、意見交換しながらいろんな点を注視してみましょう

+MORE FUN!

他にも…美術館に併設されているミュージアムショップも楽しみ方の1つですよね！
実は私、TikTokで流れてきたミュージアムショップの動画で見た靴下に一目ぼれして、その靴下目当てで
美術館に行ったことがあります✓
作品を『みる』ことだけでない楽しみ方がどんどん広がっているのも今の美術館の魅力です🎨

おまけ　美術館でのNG行為をチェック！

より美術館を楽しむために…これは注意されるかも？というNGポイントもおさえておきましょう！

大声で話すこと

撮影禁止作品ゾーン

ボールペンを持ち込むこと
汚れそうなものはすべてNG

作品に**触れる**

持ち込みはOKな場合も多いですが
飲食は禁止

2025.07

ワカ研の活動はこちらからチェック

OPA若者トレンド研究会は…
OPAがメインターゲットとしているZ世代の多様化する価値観を深く理解し、魅力的な提案をし続けるために、Z世代のリアルな声を調査・研究しているチームです！

“Z世代の皆さまと意見交換しながら、若者を研究していきいたい”という想いから
調査にご協力いただいている皆さまを含め「OPA若者トレンド研究会(ワカ研)」という活動名で
OPAmagaZineやInstagram・noteなど各種SNSで情報発信をしています✨

ワカ研HP

OPA若者トレンド研究会についての基本情報はこちらから！

https://www.opa.gr.jp/wakaken.html

Instagram

Z世代のリアルな声や最新トレンド情報を発信中！

https://www.instagram.com/oparoom/

LINE

定期的にZ世代向けのアンケートを配信！

https://liff.line.me/1645278921-kWRPP32q/?accountId=opa_wakaken

note

**Z世代のトレンドから
ニッチなアンケート結果を発信中！**

https://note.com/waka_ken

フォローやいいねお待ちしてます！